

登山紀行 <大峰山 家族での登頂>

石田 肇

お盆のお休みを利用して、8/11(木)8/12(金)の2日間で孫の尊都が数え歳の13歳になった厄除け祈願に家族で大峰山に登山に行きました。

大峰山は標高1719mで奈良県の南部にある山脈の総称で、特に山上ヶ岳は古くから信仰の山として多くの登山者で賑わっております。

現在でも大峰山は役行者(えんのぎょうじゃ)が開いた修験道発祥の地で今でも女人禁制の山として登山口には女人結界の立て札や門があります。自宅を午前2時に出発して、午前4時過ぎに山上ヶ岳登山口の清浄大橋駐車場に到着、朝食を済まして夜明けを待ち、午前5時頃から登山開始、まず、出てきたのは女人結界の門と碑です。そこで記念撮影をして私、息子、孫の三世代登山開始です。

きれいに手入れされた杉林の中をゆるやかに登っていく登山道で、すがすがしい気持ちになりました。まず一つ目の茶屋、一本松茶屋をめざします。途中は良く整備された登山道で気持ちよく登って行きました。

無人の一本松茶屋で少し休憩をした後、途中のポイント「お助け水」まで登って行きます。大峰山系はお水が豊富で、「お助け水」は役行者が修行をされた頃から、修験者の喉を潤したと伝えられています。

孫の尊都もこのあたりにくると、少し疲れが出てきたみたいで、今まで良く話しをしていましたが、少し無口になってきました。息子の尊とは大峰登山を踏まえて、生駒山へ何度か訓練をしてきましたので、比較的平気な感じで淡々と登っていました。このあたりで半分ほど登った計算になります。次は大峰奥駆道との合流点に有ります洞辻茶屋を目指します。洞辻茶屋でちょっと腹ごしらえをして休憩、ここからが修験道のメインイベントの鎖場と登って行きます。少し平坦な尾根歩きが続きその後、急な階段と岩場の鎖場の連続です。このあたりだけを見ても北アルプスの高山にも負けない位の急登です。急登を登りきると岩場が続き、年配の方には「親に孝行するか」で有名な「西の覗」に到着します。今回は3人だけで登りましたので覗きはできませんでしたが、私は息子が3人おりますので、自分の時と含めて過去4回登った時には、昔は各村で「大峰講」と言う物があったので、講の皆さんと一緒に山伏の先達様の誘導で大峰登山をいたしましたので、先達様が「西の覗」で「親に孝行するか」と言って岩からほとんど体を落とされた記憶がございます。

年配の方は「妻に孝行するか」と言われて「はい、はい」と大きな声で言われて笑いがおきた事を思い出しました。

その後、宿坊のある地域を経て終点の大峰山寺に到着です。

下山は同じルートで麓の洞川温泉に泊まりました。洞川温泉は以前にイタリアからの青少年交換学生を預かった時に、表さんを初め沢山のロータリアンと泊まった事がありました。

家内と三男の尊の嫁は、電車とバスを乗り継いで先に宿屋で待っていてくれました。宿屋も新型コロナウイルスの影響で2組だけしかお客様を取っておらず、ゆっくりと過ごす事が出来ました。

ちょっと虫が多く座るとアブやブヨがよってきて、ゆっくり休憩が出来ませんでした。晴天にも恵まれ、怪我もなく三世代登山が出来て良かったと思いました。



Rotary



HIGASHI-OSAKA EAST R.C.

国際ロータリー 第2660地区 東大阪東ロータリークラブ

CLUB WEEKLY No.2729

国際ロータリー会長
ジェニファー・E・ジョーンズ

会長 藤本 良男



「親睦、多様性、公平性、奉仕、リーダーシップを共に考えよう」



会員増強・新クラブ結成推進月間

例会日：2022年8月18日
(令和4年8月18日)

今日の例会

2022年8月18日

- 本日の卓話
石切中学校吹奏楽部 ミニコンサート
- 今日の歌「われら日本のロータリアン」
- 例会前 第1回東輪会実行委員会
例会後 決算・予算報告会
第2回大橋ガバナー年度準備委員会

来週の例会

- 8月25日(木)
卓話「職業奉仕を学び、自身の職業観を再考する」
前田 興二 君
- 例会後
伴井ガバナー補佐を迎えての
第3回クラブ協議会

会長の時間

藤本会長

お盆休みはどのように過ごされましたか。早いものです。一年のうちもう8月になりました。あと4ヶ月で一年が終わります。この一週間は猛暑続きですが、今年の高校野球は観客の観戦を許可されて開催されました。テレビで観戦していても猛暑で大変なことが分かるように、熱戦がこの2、3日多くあります。最近では全国的にこの時期は猛暑と豪雨が発生しています。例年なら九州地方から豪雨が北上することが多いのですが、今年はいきなり北陸地方、東北地方、北海道地方に豪雨災害が多く見られます。近年では地球温暖化と地球環境のせいであると思います。

本日は石切中学吹奏楽部の皆様が卓話で演奏を行って頂きます。昭和歌謡曲の演奏と7月の演奏会の披露と、日頃の練習成果を披露し私たちロータリアンのために演奏を行っていただけたこととです。それと同時にこの事業も毎年この夏の時期にわが東大阪東ロータリークラブ事業として行ってゆきたいものですが、これもまた青少年の奉仕の一環として持続可能な奉仕事業としてはどうでしょうか。今まではコロナ禍で色々な事業が実施出来なかったのを当年度はすべて活動持続できる行事として行いたいと思います。

本日の一言

晴れた日は晴れを愛し、
雨の日は雨を愛す、
楽しみのあるところたのしみ、
楽しみなきところに楽しむ、でした。

東大阪東ロータリークラブ

HP: <http://www.higashiosaka-eastrc.jp>

会長: 藤本 良男
幹事: 田原さおり
会報資料担当: 大橋 秀典

創立: 昭和40(1965)年3月4日 例会場: ホテルセイリウウ 例会: 毎週木曜日 12:30~
事務局: 〒579-8012 東大阪市上石切町1-11-12 ホテルセイリウウ302号室
TEL072-985-0189 FAX072-985-0577 E-mail:higashiohrc@air.ocn.ne.jp

《これからの予定》

- 【1】 本日例会前、第1回東輪会実行委員会
例会後、第2回大橋ガバナー年度準備委員会
- 【2】 8/23(火)衛星クラブ例会19:00~
- 【3】 8/25(木)伴井ガバナー補佐を迎えての第3
回クラブ協議会
- 【4】 8/27(土)クラブ青少年奉仕合同委員長会議
(藤本会長、新井青少年奉仕委員長出席)

《連絡事項》

- 【1】 本日例会前に第1回東輪会実行委員会を
開催いたしました。また、例会後に4F楓の間
にて、第2回大橋ガバナー年度準備委員会
を開催いたしますのでよろしくお願い致します。
- 【2】 次週8/25(木)は伴井ガバナー補佐を迎え
てのクラブ協議会です。多数のご参加よろし
くお願い致します。



米山奨学生指導教員 高木先生

**ロータリーの友 2022年8月号記事紹介
(宮里地区ガバナーご紹介記事から抜粋)**

広報委員会
広報・雑誌担当 井上 家昌

＜8月号横組記事より＞

- 1. P. 4~5 [RI会長メッセージ (RI指定記事)]

“全ては招請することから始まる”

私たちはさまざまな道を歩んでロータリーの一員
となりました。全員に共通する理由があります。招
請されたからです。

ロータリー全体でDEIを推進することや、2023年ま
でに女性会員の割合を30%にするという目標を
達成すると私は信じています。

信念の人の熱い思いが伝わります。

- 2. P. 7~13 [特集 会員増強]
多様性のあるクラブづくりへ、女性会員を増強し
よう。

「ロータリーの友」誌アンケートでは会員維持を阻
む理由や活動について一部を紹介。増強・維持に
手掛かりを…

- 会員増強・維持に必要なこと ●女性会員に立
ちはだかる壁

日本の女性会員比率219の国と地域中217位

3. P.18~19[ロータリー米山記念奨学事業の基
礎知識]-奨学金制度編-

「よねやまだより」で寄付の使途などの情報を伝え、
事業の確認と

認識を新たに！

よねやま親善大使をぜひお招きください！

地区行事の場合は、米山記念奨学会が旅費を負
担します。オンライン参加もOK。

4. P. 28~29[ロータリー行動計画(RI指定記
事)]

参加者の基盤を広げる

オーストラリア:アデレード・ライトRCに所属(アデ
レードシティRACの創立会員)DEI・タスクフォース
のメンバーのケイティ・ハリディさんは、参加者の
基盤を広げるためにDEIは全員で取り組むことが
でき、またそうするべきです。リーダーだけでで
きることはありません。会員が知っておくべきこと
は、人々が手を取り合って行動する世界というビ
ジョンを実現できる可能性を広げていく事に強い
意志を感じます。

＜8月号縦組記事より＞

- 1. P. 4~8 [SPEECH]

2021年5月17日、RID2770、第3・4グループ合同IM
講演要旨

えちごトキめき鉄道(株)社長 鳥塚 亮 氏

「危機を乗り越える夢と戦略」

「廃れている」と言う人は来ません。「昭和の景
色」と言ったら人は来るのです。今あるもので勝負
する。“ここには「何もない」があります”というポ
スター「良さが分るほんの一握りの人だけ来ていた
だければ結構です」今あるものを磨けということ
ですよね。鉄道は夢と希望を乗せて今日も走って
います。

会員コラム

天野 正亮

お盆を迎えて

例年通り、8月11日の例会はお盆休みとなりまし
た。会員の皆様には日本国中夏休みとなるこの
お休みをどのように過ごされたでしょうか。残念な
がら私の方は休みどころではなく、仏教の行事と
して多忙な日々となります。

今は、夏休み、仏教の行事となったお盆について
少しその歴史、根源をたどってみたいと思います。
盂蘭盆という言葉が聞かれたことがあると思いま
すが、これはウランバナというインドの言葉に漢
字をあてて訳されたもので、その意味は逆さ吊り
の餓鬼道の苦しみを表します。餓鬼道の世界とは
常に飢えと渇きに苦しみ、

苦しみの末やっと手に入れた水や食べ物を口に
入れるとたちまち火となり、さらなる苦しみが襲う
という世界です。

お釈迦様在世の時、仏教の教えは広まり、たくさ
んのお弟子がおられました。そのお弟子の中でも
十大弟子のひとりと言われた目犍連というお弟子
がおられました。お釈迦様の高弟はそれぞれ優
れた力を身に着けており、例えば阿難は多門第
一と言われ、お釈迦様の説法を一番多く聞いてい
ましたし、富楼那は雄弁で説法第一と言われまし
た。この目犍連は神通第一と言われ、他のお弟
子が見られない様々の世界を見ることができたとい
われています。その神通力をもって今は亡き母
を見てみると、ウランバナすなわち餓鬼道の世界
に落ちていたのです。もともと、目犍連は秀才で
ありましたが、その素養を伸ばし大目犍連として
育て上げたのはその母でありました。母の恩を思
い餓鬼道に落ちた母を救いたく、お釈迦様にお願
いしたところ、百味供養、すなわち分け隔てなく万
人に食べることの供養することを勧められ、その
供養によって母は餓鬼道から救われたと言われて
います。

この物語がそもそもお盆の始まりでした、永い時
間と、はるかな距離を経て日本に伝わり、途中の
様々な文化、日本の従来の文化と融合し今日が
あります。

改めて、なぜ深い愛情をもって目犍連を育てた母
が餓鬼道に落ちたのでしょうか。
母の愛情は一見美しいように思えます。しかし、
生きとし生けるものすべてに愛情をもってその命
を尊ぶ仏教の慈悲の世界からは少し偏っている
のではないのでしょうか。受験の時、わが子だけ
はと思うのが世の常であり、なかなか心から他人
の子供もと願える人はいません。また、反対に我が
身を餓鬼道に落としても子供の幸せを願う母とし
ての愛情の深さも感じます。

このお盆が、今ある私たちの命が多くの縁の濃い、
薄いとは別としてつながり存在しているということ
を思い出す縁となればと感じています。

先週(8/11)休会

(8/4)の出席者数:33名(2)

内ZOOM出席3名

ゲスト3名:(株)河内新聞 社主 吉川 雄太様
大阪女学院留学生支援室 高木 芳子様
米山奨学生 ズオン ニアット リンさん

8/4 出席率:73.33%

※()内数字は出席免除会員の出席者数
会員:56名(免除13名)

	7/21	7/28	8/4
HC出席	26(3)名	25(3)名	33(2)名
MU出席	10(1)名	8(1)名	2(1)名
修正出席率	75.00%	68.75%	76.09%